



高齢者の事故を防ぐために

総務省統計局の 2023 年 10 月 1 日現在の人口推計によると、日本の総人口は 1 億 2435 万 2 千人となり、前年に比べ 59 万 5 千人減少し、13 年連続の減少となりました。65 歳以上の高齢者の人口は、3622 万 7 千人で前年に比べ 9 千人の減少となった一方、総人口に占める割合は前年から 0.1 ポイントの増加で 29.1%となり、過去最高となりました。また、1947 年～1949 年生まれの第 1 次ベビーブーム世代が 75 歳を迎え、75 歳以上の高齢者の人口は、2007 万 8 千人で前年に比べて 71 万 3 千人の増加、総人口に占める割合は、0.6 ポイントの増加で 16.1%となり、過去最高となりました。

消費者庁では、75 歳以上で要介護認定 1～3 を受けている高齢者と同居・介護を行っている人を対象に、家庭や介護施設等で起きている事故の特徴を明らかにするアンケート調査を行い、その結果が公開されました。高齢者は、事故をきっかけに生活の質が悪化することがあります。何に気をつけるのか考えてみましょう。



○アンケート調査の内容

家庭内や通所型介護施設（デイサービス）にて、同居・介護をしている時に高齢者に起きた事故の実態について、インターネットによるアンケート調査を行いました。

アンケートの回答者の構成

調査期間：2023 年 10 月 31 日～11 月 14 日

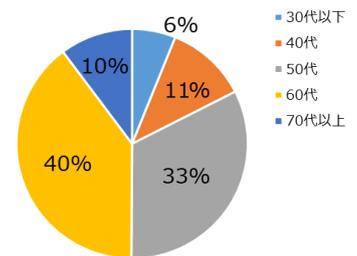
調査対象者：過去 2 年間において 75 歳以上で要介護認定 1～3 を受けている方を同居・介護していた 1000 人

調査対象者割付：居住地域別 3 区分

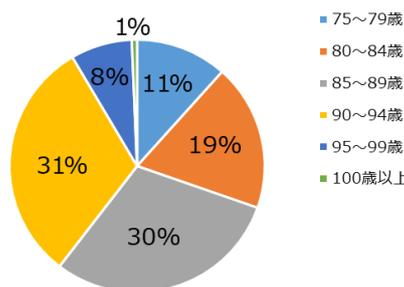
東京 23 区または政令指定都市、中核市、左記以外

グラフ 1 は、今回のアンケート回答者の年齢構成で、60 歳以上の割合は 50%となりました。

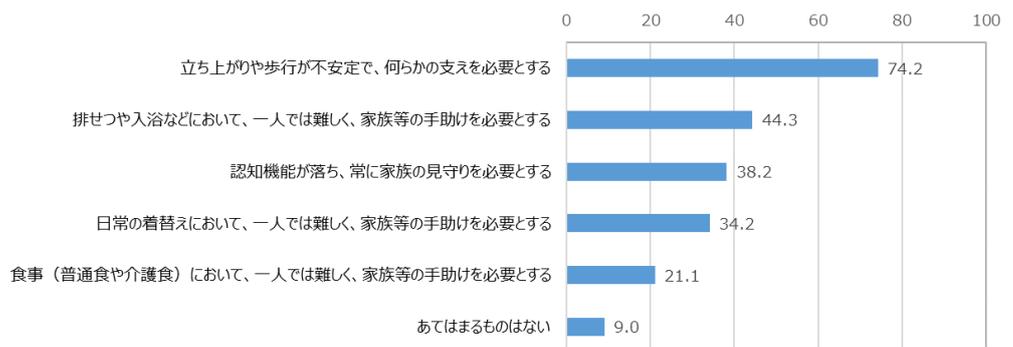
また、回答者が同居・介護している 75 歳以上で要介護認定 1～3 の方は 1051 名で、その構成をグラフ 2 に示します。そして、75 歳以上で要介護認定 1～3 を受けている方の身体の状況は、グラフ 3 の通りです。「立ち上がりや歩行が不安定で、何らかの支えを必要とする」方が、74.2%で最も多くなりました。



グラフ 1 回答者の年齢



グラフ 2 同居・介護している 75 歳以上で要介護認定 1～3 を受けている方の構成



グラフ 3 同居・介護している 75 歳以上で要介護認定 1～3 を受けている方の身体の状況（複数回答）

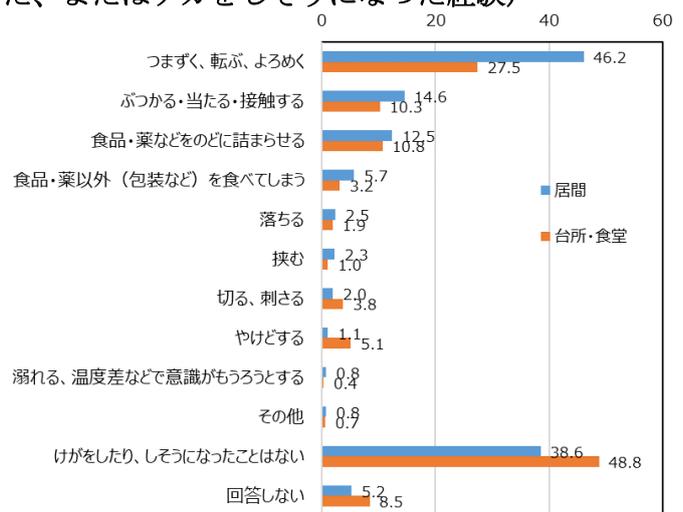
○アンケート調査の結果から（屋内でケガをした、またはケガをしそうになった経験）

アンケートでは、屋内を居間、寝室、台所・食堂、洗面所、風呂場、玄関、階段、トイレ、廊下などの場所に分けて調査をされましたが、どの場所においても「つまづく、転ぶ、よろめく」が最も多く、次いで「ぶつかる・当たる・接触する」となりました。一方、台所・食堂においては、「食品・薬などをのどに詰まらせる」が 2 番目に多くなる特徴がみられました。居間と台所・食堂における結果の事例をグラフ 4 に示します。

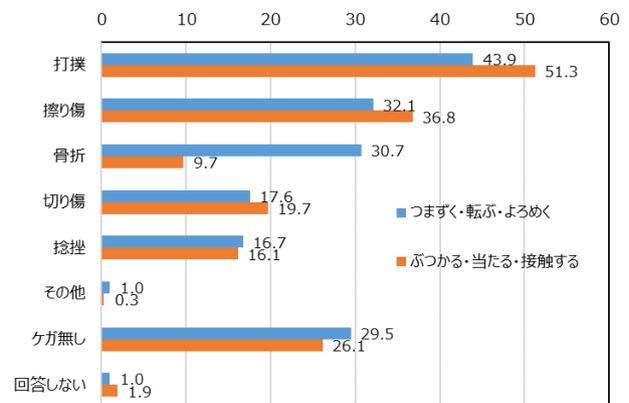
「つまづく、転ぶ、よろめく」「ぶつかる・当たる・接触する」それぞれに回答した 831 名と 310 名について、その後の結果を調べたグラフ 5 では、「打撲」「擦り傷」などの負傷をしていることが分かりました。特に「骨折」に至る場合もあり、「つまづく、転ぶ、よろめく」では、30.7%の方が「骨折」をしていました。高齢者では、骨折がきっかけになり介護が必要な状態になる場合が多いとの報告もありますので、十分に注意をする必要があります。

グラフ 6 は、グラフ 4 で「つまづく、転ぶ、よろめく」「落ちる」と回答した 842 名に、「転倒した、しそうになった時の状況」を複数回答で聴取したものです。回答は「段差につまづいたとき」が 67.1%、次いで「立ち上がったとき」46.8%となり、この二つがケガをする大きな要因であることが分かります。

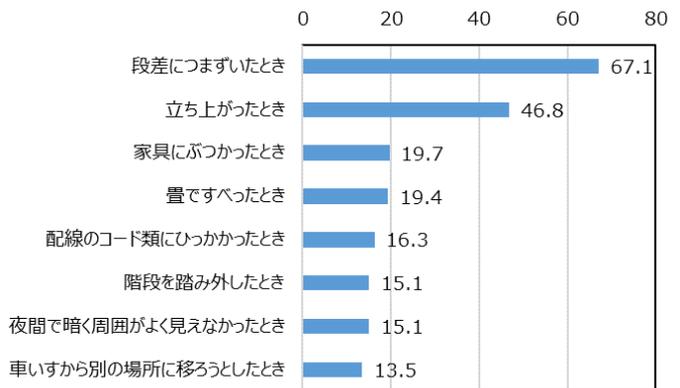
高齢者が行動する際には、周りで見守る人が小さな段差や急な動きに、注意することで事故を防ぐことが可能です。室内など普段の動線の中に、つまづく原因となる段差などをなくすこと、手すりなど体を支えることができる設備を設けることで、事故を予測して防ぐこともできます。改めて身の周りを見直してみましょう。



グラフ 4 屋内においてケガをした、またはしそうになった経験（複数回答）



グラフ 5 屋内においてケガをした、またはしそうになった結果（複数回答）



グラフ 6 転倒した、しそうになった時の状況（複数回答）

【参考にした情報】

1) 令和 5 年度「高齢者の事故防止等に関するアンケート調査」；消費者庁

https://www.caa.go.jp/policies/future/project/project_012/assets/future_caa_cms201_240410_01.pdf